


# 新型コロナウイルス小児（5歳～11歳児）用ワクチンの接種について（案）

令和4年3月  沖縄県

3月から新型コロナウイルス小児用ワクチンの接種が、県内各市町村において開始されます。県では、希望する県民が接種を受けられることができるよう、市町村と連携して機会の確保について努めてまいります。県民が接種について判断できるよう、ワクチンの有効性及び安全性について情報提供を行うこととしております。小児の接種にあたっては、下記の点を踏まえ御検討ください。

## 1 国における小児のワクチンについての考え方について

### (1) 有効性及び安全性について

小児用ワクチンの接種にあたり、国においては、

ア 有効性については、2回目接種後7日以降の発症予防効果は90.7%とされている。

（ただし、オミクロン株が出現する以前のデータによる。）

イ 安全性については、安全性に重大な懸念は認められず、副反応として報告される心筋炎についても5歳～11歳の男子の方が、12歳～17歳の男子よりも低い。

と説明しています。（別添1参照）

### (2) 予防接種法上の努力義務を課さないとした考え方

小児用のワクチンは、臨床試験等から有効性や安全性が確認されていること、海外でも広く接種が進められていること等を踏まえ、日本でも接種が進められることになっています。しかし、小児については、現時点において、オミクロン株に対するエビデンスが確定的でないことも踏まえ、小児について努力義務の規定は適用せず、今後の最新の科学的知見を踏まえ、改めて議論することが適当であるとされました。（厚生労働省ホームページ「新型コロナワクチンQ&A」より抜粋。）

## 2 本県における未成年者の感染状況（デルタ株、オミクロン株の違い）と副反応の発生状況について

本県では、オミクロン株の感染者はデルタ株よりも増えましたが、未成年者の入院率は減少しています。（別添2「第5波との比較」参照）

ワクチンによる未成年者（12歳～19歳）の副反応については、全年齢136例中16例（うち重篤者は2例）となっており、死亡例はありません。（別添3参照）

5歳から11歳のお子様と  
保護者の方へ

新型コロナウイルス接種  
についてのお知らせ



接種費用  
無料  
(全額公費)

5歳以上のお子様も  
新型コロナウイルスを受けることができます。

おうちの人と一緒にこの説明書を読んで、ワクチンを受けるか相談しましょう。

接種当日は母子健康手帳もご持参ください。

保護者の方へ

5歳から11歳の方も、新型コロナウイルスワクチンを受けられるようになりました。  
国内の新型コロナウイルス感染者全体に占める子どもの割合は増えています。  
この説明書を読んで、ワクチンを受けるか、お子様と一緒にご検討ください。

◎使用するワクチン

ファイザー社の5~11歳用のワクチンを使用します。子ども用のワクチンです(※)。  
通常、3週間の間隔をあけて、合計2回接種します。  
(※)ファイザー社の12歳以上のものに比べ、有効成分が1/3になっています。

◎接種の対象

- 5歳から11歳の方
- 特に、慢性呼吸器疾患、先天性心疾患など、重症化リスクの高い基礎疾患(※)を有するお子様は接種をおすすめしています。接種にあたっては、あらかじめかかりつけ医などとよく相談してください。  
(※)日本小児科学会では、新型コロナウイルス感染症の重症化リスクが高い疾患の一覧等を公表しています。  
日本小児科学会「新型コロナウイルス関連情報」  
URL: [https://www.jpeds.or.jp/modules/activity/index.php?content\\_id=333](https://www.jpeds.or.jp/modules/activity/index.php?content_id=333)



新型コロナウイルスワクチンの効果

Q.新型コロナウイルスワクチンは、どんな効果がありますか？

A.新型コロナウイルスワクチンを受けることで、新型コロナウイルスに感染しても症状が出にくくなります。

ワクチンを受けると、体の中で新型コロナウイルスと戦う仕組み(免疫)ができます。ウイルスが体に入ってきた時に、すぐ戦える準備ができますので、新型コロナウイルスの症状が出にくくなります。5~11歳における2回接種後7日以降の発症予防効果は、90.7%と報告されています(※)。

(※)オミクロン株が出現する前のデータです。

出典:特例承認に係る報告書より

新型コロナウイルスワクチンの安全性

Q.子どもが新型コロナウイルスワクチンを受けた後は、どんな症状が出ますか？

A.注射した部分の痛みが一番多く現れます。

ワクチンを受けた後、数日以内に現れる症状は、注射した部分の痛みが一番多く、1回目で74%、2回目で71%でした。注射を受けたすぐ後よりも、受けた日の夜や次の日に痛みを感じる人が多いです。疲れた感じや発熱などは、1回目よりも2回目の後の方が多く現れ、38℃以上の発熱は1回目で2.5%、2回目で6.5%でした。ワクチンを受けた後の症状は、ほとんどが軽度または中等度であり、現時点で得られている情報からは、安全性に重大な懸念は認められないと判断されています。

■数日以内に起こることがある症状

症状が出た人の割合	症状
50%以上	注射した部分の痛み、疲れた感じ
10~50%	頭痛、注射した部分の赤み・はれ、筋肉痛、寒気
1~10%	下痢、発熱、関節痛、嘔吐

出典:特例承認に係る報告書より

Q.若い男子ほど接種後に心筋炎を発症しやすいと聞きますが、子どもはどうでしょうか？

A.米国では、12~17歳男子に比べ5~11歳男子の方が、心筋炎が報告される割合が低いとされています。

ごくまれですが、海外では子どもでも軽症の心筋炎を発症した例が報告されています。  
米国では、新型コロナウイルス接種後の心筋炎の報告率は、5~11歳の男子の方が12~15歳や16~17歳の男子より低いとされています。

ワクチン接種後4日程度の間にお子様にも胸の痛み、動悸、息切れ、むくみなどの症状がみられた場合は、速やかに医療機関を受診して、ワクチンを受けたことを伝えてください。

なお、心筋炎と診断された場合は、一般的には入院が必要となりますが、多くは安静によって自然回復します。

出典:2022.1.5 ACIP Meeting

## 新型コロナワクチンを受けるには

### ◎お子様のワクチン接種には、保護者の方の同意と立ち合いが必要です。

ワクチンを受ける際には、感染症予防の効果と副反応のリスクの双方について、正しい知識を持っていただいた上で、保護者の方の意思に基づいて接種をご判断いただきますようお願いいたします。保護者の方の同意なく、接種が行われることはありません。

周りの方に接種を強制したり、接種していない人に対して差別的な対応をすることはあってはなりません。

### ◎ワクチン接種当日は可能な限り母子健康手帳をご持参ください。

子どものワクチン接種では、接種履歴は母子健康手帳で管理しているため、接種当日には可能な限り母子健康手帳をご持参ください。

その他、このお知らせが入っていた封筒の中身一式、本人確認書類（マイナンバーカード、健康保険証等）を忘れずにお持ちください。



### ◎ワクチンについての疑問や不安があるときはかかりつけ医などにご相談ください。

新型コロナワクチンと他のワクチンとの接種間隔などについては、かかりつけ医などにご相談ください。同時または前後2週間は、原則、他のワクチンを受けることはできません。また、お子様に基礎疾患があるときなど、ワクチンについての疑問や不安があるときも、かかりつけ医などによくご相談ください。

## ご相談先など

### ◎新型コロナワクチンに関する相談先

ワクチン接種後に、体に異常があるとき	→	ワクチンを受けた医療機関やかかりつけ医、市町村や都道府県の窓口
ワクチン接種全般に関するお問い合わせ	→	市町村の窓口

### ◎予防接種健康被害救済制度について

予防接種では健康被害（病気になったり障害が残ったりすること）が起こることがあります。極めてまれではあるものの、なくすことはできないことから、救済制度が設けられています。

新型コロナワクチンの予防接種によって健康被害が生じた場合にも、予防接種法に基づく救済（医療費・障害年金の給付など）が受けられます（※）。申請に必要な手続きなどについては、住民票がある市町村にご相談ください。

（※）その健康被害が、接種を受けたことによるものであると厚生労働大臣が認定したときは、市町村により給付が行われます。認定にあたっては、予防接種・感染症・医療・法律の専門家により構成される国の疾病・障害認定審査会により、因果関係を判断する審査が行われます。

ワクチンを受けた人もいれば、受けていない人もいます。ワクチンを受けた後も、今までのように、しっかり手洗い・消毒、マスクなどの感染予防対策を続けましょう。



子どもに対する新型コロナワクチンの有効性・安全性などの詳しい情報については、厚生労働省のホームページをご覧ください。

厚労 コロナ ワクチン 子ども 検索

ホームページをご覧になれない場合は、お住まいの市町村等にご相談ください。



## 新型コロナワクチン接種についてのお知らせ

### 新型コロナワクチンをなぜ受けるの？

人の体の中に新型コロナウイルスが入りこみ仲間が増えると、ねつ、だるさ、せき、息ぐるし、頭のいたみ、味覚の変化などがおきて、体の調子が悪くなります。

ワクチンを受けると、体の中で新型コロナウイルスとたたかう用意ができるので、ウイルスが体に入っても、体の調子が悪くなりにくくなります。



### 新型コロナワクチンを受けるときは、どんなことに注意すればいいの？

#### 受ける前

37.5℃以上のねつがあるときや、体の調子が悪いときは、ワクチンを受けられないので、そのことをおうちの人に伝えましょう。

#### 受ける時

ワクチンは肩の近くに注射します。肩を出しやすい服で、受けに行きましょう。

#### 受けた後

◎ワクチンを受けた後、15分以上はすわって様子を見ましょう。（30分様子を見る場合もあります）

◎当日はお風呂に入るなど、いつも通りの生活をするのは問題ありませんが、激しい運動はやめましょう。

◎ワクチンを受けると、以下の症状が出ることがありますが、2～3日で自然とよくなるのがわかっています。

- ねつ
- だるさ
- 息ぐるし
- 頭のいたみ
- おなかをこわす
- 気持ちわるさ
- おなかをこわす
- 頭のいたみ
- さむけ

## こんな症状が出たら、おうちの人や周りの大人に知らせましょう。

### ●受けたすぐ後

- 体のかゆさ
- せき

### ●受けた日や4日くらいの間

- ねつ
- だるさ
- さむけ
- 頭のいたみ
- 胸のいたみ
- 胸がドキドキした感じ
- 息ぐるし

## このワクチンは3週間の間をあけて2回受けてください。

### 守ってほしい、大切なこと。

ワクチンを早く受けている人や、ワクチンを受けられない理由がある人など、様々な人がいます。ワクチンを受けている、受けていないといった理由で周りの人を悪く言ったり、いじめたりすることは、絶対にあってはなりません。





## 沖縄県新型コロナウイルス感染症発生動向報告

沖縄県疫学・統計解析委員会

### 【現状】

#### 新規陽性者数・実効再生産数

沖縄県における先週（2月7日-13日）の新規陽性者数は、3,856人（先々週 4,344人）でした。沖縄本島（周辺離島を含む）における先週の実効再生産数(R)<sup>\*1</sup>は0.86 [最小値0.44-最大値1.10]、このうち那覇市は0.86 [0.44-1.16]でした。また、宮古は1.23 [0.54-2.79]、八重山は1.16 [0.62-2.56]でした（図1）。沖縄本島は緩徐に減少していますが、離島では増加に転じています。

\*1：最終日を除いた直近7日間における日別推定値（平均値）の平均値。[ ]内は、直近7日間における日別推定値（平均値）の範囲（最小値から最大値）を表す。

#### 年齢階級別推移

年齢階級別では、10歳未満が711人（18%）と最多で、30代621人（16%）、40代547人（14%）と続きます（図2）。90歳以上を除くすべての年代において減少しています。

#### 幼年・若年層

学校別では、保育園・幼稚園児186人、小学生452人、中学生117人、高校生99人でした。

保健所による疫学調査によると、小学生の推定感染経路は、家庭200人（44%）、友人25人（5%）、学校12人（3%）、学童クラブ10人（2%）、不明197人（44%）でした。また、中学生の推定感染経路は、家庭52人（44%）、友人7人（6%）、学校1人（1%）、不明55人（47%）でした（図3）。

#### 保健所管区別・市町村別推移

保健所管轄区域別（7日間合計）では、北部185人（先々週249人）、中部1,386人（先々週1,712人）、那覇市824人（先々週954人）、南部1,106人（先々週1,165人）、宮古141人（先々週94人）、八重山168人（先々週131人）でした。

北部、中部、那覇市で減少が続いていますが、南部は下げ止まり、宮古、八重山では増加しています（図4）。なお、県外からの渡航者は41人（先々週46人）でした。

人口1万人以上の市町村別（人口10万人あたり7日間合計）では、多い順に石垣市299、与那原町229、北谷町179でした（図5）。石垣市では、活動性の高い30代、40代における感染が増加しており、今後も拡大する可能性があります。

#### 入院患者数推移

入院患者数は、先週末（2月13日時点）で334人と1週間前より45人減少しています。酸素投与など中等症患者は211人と1週間前より35人減少しています。一方、気管挿管など重症患者は5人と1週間前より3人増加しています。その他、社会福祉施設で療養されている陽性者が121人おられ、1週間前より42人減少しています（図6）。

#### 第5波との比較

昨年の第5波にあたる2021年8月1日から31日までに、主にデルタ株によると考えられる18,157人の感染を診断し、2,193人が入院し、61人が死亡しています。入院患者が40代、50代の壮年層に集中している一方で、高齢者の感染そのものが少なく、入院受療率が高いものの実数は限

られていました（図7）。

今年の第6波における2022年1月1日から31日までに、主にオミクロン株によると考えられる32,749人の感染を診断し、1,271人が入院し、20人が死亡しています。若年・壮年層の入院は陽性者の5%以下と少ない一方で、80代以上の高齢者では40%近くが入院しています（図8）。

年齢階級別に比較すると、すべての年代において昨年8月よりも今年1月が多く、とくに20代と高齢者で多数の陽性者を認めています（図9）。90歳以上では3倍を超えており、高齢者施設における集団感染の影響が考えられます。

若者の感染を確認したときの入院受療率は、オミクロン株において大きく低下したため、第6波

では入院患者数が減少しています。しかし、80代以上の感染を確認したときの入院受療率は、デルタ株とオミクロン株では大きな差は認めておらず、多くの高齢者が感染したことにより入院患者数も増加しています。このため、高齢者の入院ならではの合併症への対応、身体介護、認知症への対応などが求められ、第6波では医療機関への負荷が高まっています。

ただし、全年齢において、デルタ株と比してオミクロン株の致死率は低くなっています。オミクロン株の病原性が低い可能性もありますが、ワクチン接種の推進、人工抗体薬の早期投与、巡回診療による施設支援などの効果も考えられます。

### 【今後の見通しと対策】

沖縄県では、1月9日から実施されている重点措置について、2月20日までに解除することが検討されています。沖縄本島における流行は下げ止まっていますが、小児を除く若年層において減少が続いており、再流行の兆しとは言えません。一方、宮古、八重山では、若者層を中心として増加に転じていることから、このまま再流行へと移行する可能性があります。

現在も高いレベルでの流行は続いていることから、重点措置を解除した場合には再流行をきたすリスクがあります。このため完全な活動再開は困難であり、たとえば会食については同居する家族や親しい人に限るなど、個別に感染対策を講ずることが必要です。

また、本土では大きな流行が続いているため、帰省や出張などで渡航者を受け入れる際には、事前に検査を受けて陰性を確認するように求めています。渡航者を交えた多人数での会食については、できるだけ控えていただくようお願いいたします。

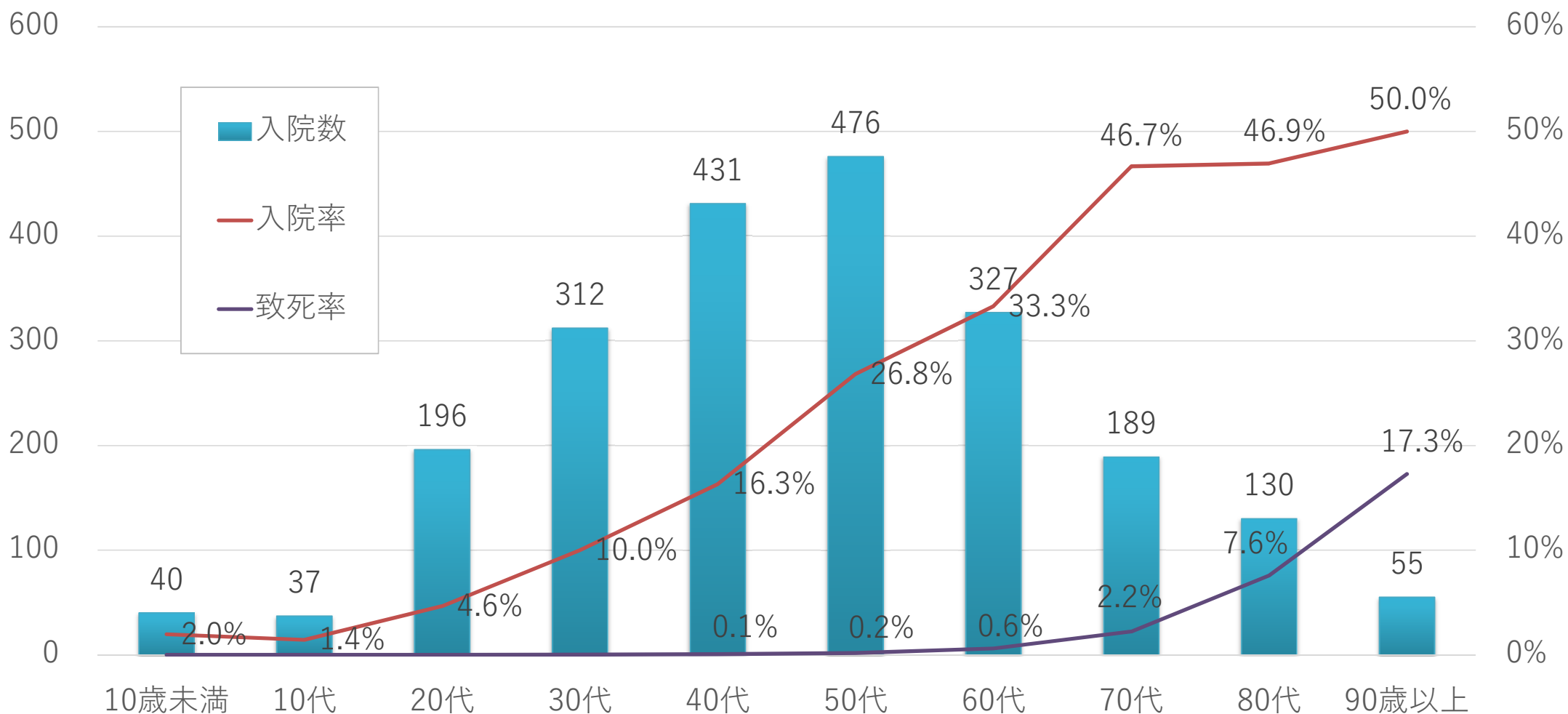
入院患者数については減少傾向が続いていることから、医療ひっ迫は徐々に改善してきています。

ただし、高齢者施設での集団感染は散発しており、引き続き感染対策を強化するとともに、施設内療養者のための支援体制を維持していくことが求められます。そして、高齢者へのワクチン接種をさらに推進していくことが必要です（図10）。

今週の新規陽性者数は、3,000-4,000人と見込みます。また、今週末までに入院患者数は300-330人に至り、うち重症患者数は3-4人と見込みます（図11）。

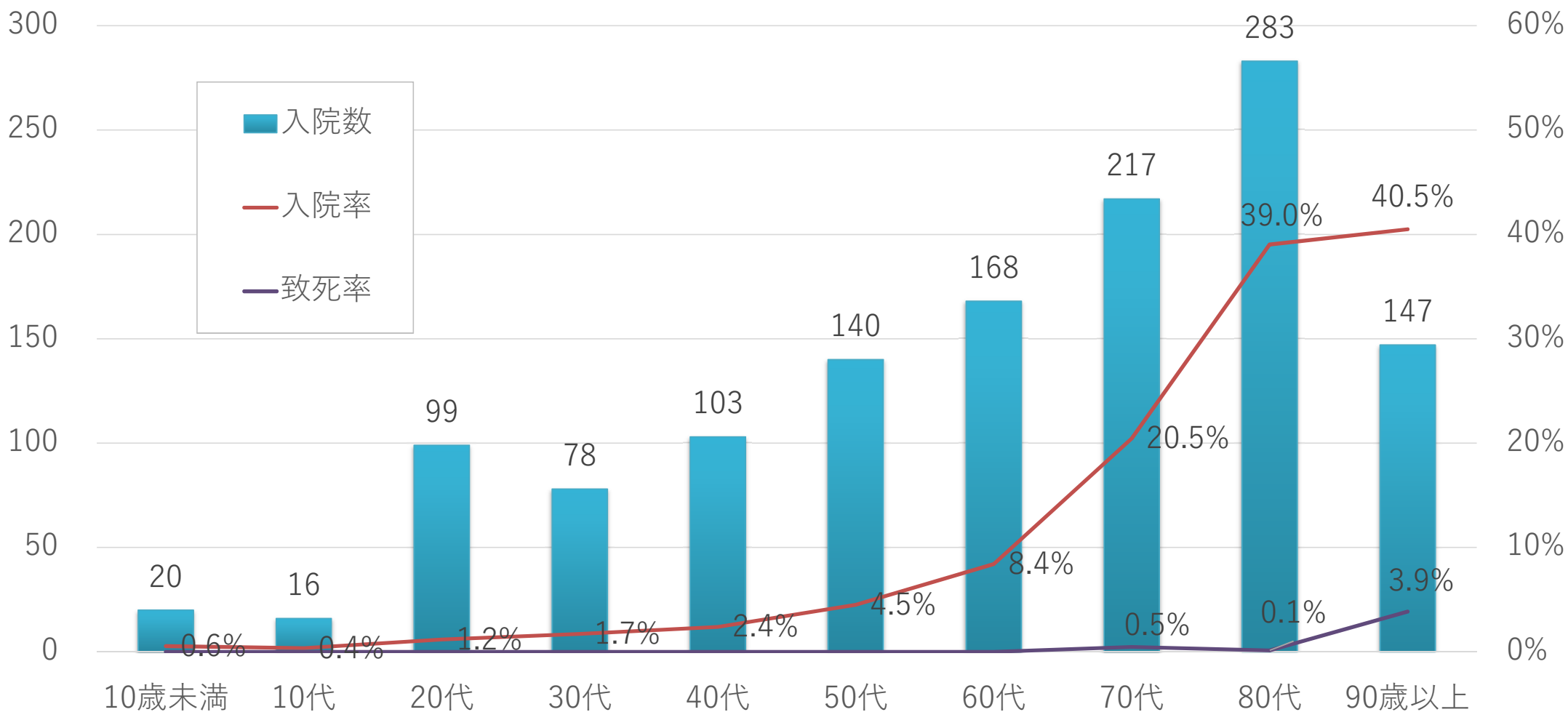
# 図7 年齢階級別にみる入院患者数、入院受療率、致死率

2021年8月1日から31日までに診断確定した患者18,157人について分析



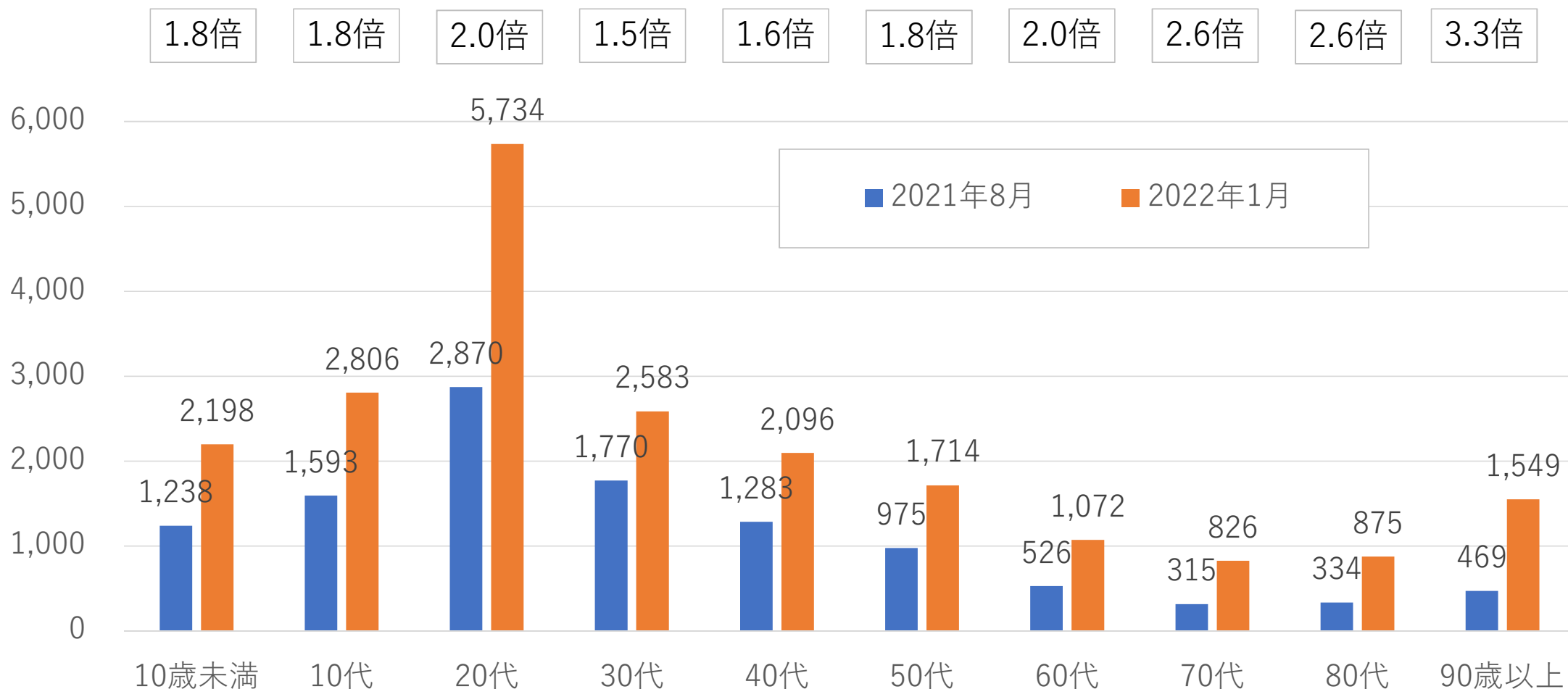
# 図8 年齢階級別にみる入院患者数、入院受療率、致死率

2022年1月1日から31日までに診断確定した患者32,749人について分析



# 図9 年齢階級別にみる陽性者数（2021年8月、2022年1月）

各年齢階級における人口10万人あたり陽性者数、2021年8月に対する2022年1月の実数比



沖縄県における新型コロナワクチン接種に係る副反応疑い報告状況  
令和4年2月10日時点

報告総数 136

ファイザー社製ワクチン			モデルナ社製ワクチン		
副反応疑い報告数			副反応疑い報告数		
うち重篤報告者数			うち重篤報告者数		
うち死亡報告数			うち死亡報告数		
120	44	12	15	5	0

アストラゼネカ社製ワクチン			使用ワクチン不明		
副反応疑い報告数			副反応疑い報告数		
うち重篤報告者数			うち重篤報告者数		
うち死亡報告数			うち死亡報告数		
0	0	0	1	1	0

ファイザー社製ワクチン

年齢	男性			女性		
	副反応疑い報告数			副反応疑い報告数		
	うち重篤報告者数			うち重篤報告者数		
うち死亡報告数			うち死亡報告数			
10~19	6	1	0	7	1	0
20~29	6	0	0	13	5	0
30~39	7	3	0	17	6	0
40~49	7	2	0	18	6	0
50~59	2	0	0	13	2	0
60~69	6	2	1	3	1	1
70~79	5	5	5	3	3	0
80~89	1	1	1	1	1	0
90~99	2	2	2	3	3	2
合計	42	16	9	78	28	3

モデルナ社製ワクチン

年齢	男性			女性		
	副反応疑い報告数			副反応疑い報告数		
	うち重篤報告者数			うち重篤報告者数		
うち死亡報告数			うち死亡報告数			
10~19	3	0	0	0	0	0
20~29	1	0	0	4	0	0
30~39	0	0	0	1	1	0
40~49	1	1	0	2	1	0
50~59	2	1	0	0	0	0
60~69	1	1	0	0	0	0
70~79	0	0	0	0	0	0
80~89	0	0	0	0	0	0
90~99	0	0	0	0	0	0
合計	8	3	0	7	2	0

アストラゼネカ社製ワクチン

年齢	男性			女性		
	副反応疑い報告数			副反応疑い報告数		
	うち重篤報告者数			うち重篤報告者数		
うち死亡報告数			うち死亡報告数			
10~19	0	0	0	0	0	0
20~29	0	0	0	0	0	0
30~39	0	0	0	0	0	0
40~49	0	0	0	0	0	0
50~59	0	0	0	0	0	0
60~69	0	0	0	0	0	0
70~79	0	0	0	0	0	0
80~89	0	0	0	0	0	0
90~99	0	0	0	0	0	0
合計	0	0	0	0	0	0

使用ワクチン不明

年齢	男性			女性		
	副反応疑い報告数			副反応疑い報告数		
	うち重篤報告者数			うち重篤報告者数		
うち死亡報告数			うち死亡報告数			
10~19	0	0	0	0	0	0
20~29	0	0	0	0	0	0
30~39	0	0	0	0	0	0
40~49	0	0	0	0	0	0
50~59	0	0	0	0	0	0
60~69	0	0	0	1	1	0
70~79	0	0	0	0	0	0
80~89	0	0	0	0	0	0
90~99	0	0	0	0	0	0
合計	0	0	0	1	1	0



## 空港PCR検査プロジェクト・TACO・RICCA等の状況

### 1 空港PCR検査プロジェクトの実績数

令和4年3月7日(月)～令和4年3月13日(日)

	今回(3/7～3/13)		対先週比		累計	
PCR検査受検者	3,021	人	+229	人	100,681	
うち県内在住者(県内)	2,814	人	+252	人	81,999	
うち県外在住者(県外)	207	人	-23	人	18,682	
うち陽性者	29	人	+6	人	676	
【空港別PCR検査結果内訳】						
	受検者			陽性者		
・那覇空港	2,221	人	(県内2,043人、県外178人)	29	人	(県内26人、県外3人)
・宮古空港	326	人	(県内318人、県外8人)	0	人	(県内0人、県外0人)
・下地島空港	69	人	(県内63人、県外6人)	0	人	(県内0人、県外0人)
・新石垣空港	272	人	(県内257人、県外15人)	0	人	(県内0人、県外0人)
・久米島空港	133	人	(県内133人、県外0人)	0	人	(県内0人、県外0人)

### 2 那覇空港抗原検査

令和4年3月7日(月)～令和4年3月13日(日)

	今回(3/7～3/13)		対先週比		累計
抗原検査受検者	396	人	+38	人	20,664
うち県内在住者(県内)	307	人	+51	人	12,563
うち県外在住者(県外)	89	人	-13	人	8,101
うち陽性者(抗原検査陽性)	3	人	+3	人	83
【抗原検査陽性者内訳】県内3名、県外0名 うち迅速PCR検査陽性者 3名(県内3名、県外0名) 【同行者】県内0名、県外0名 うち迅速PCR検査陽性者 0名(県内0名、県外0名)					

### 3 TACO(那覇空港)の週間実績数

令和4年3月7日(月)～令和4年3月13日(日)

サーモグラフィー通過者	166,584	人	出発 72,977 人 到着 93,607 人
	前週実績: 139,176人(2/28-3/6) (+27,408)		
発熱者数	0	人	
問診実施件数	0	件	
検査実施数	0	件	
電話対応件数	6	件	
うち健康相談・問診実施数	6	件	

### 4 RICCAの状況

	3/11時点	前回比3/4
登録者数	145,115	人 +1,001
登録施設等(QRコード発行件数)	22,418	件 +11